



# アリーナ機能を中心とした 複合施設整備に向けた検討資料

— 21世紀型まちづくりの視点から —

# アリーナ機能を中心とする複合施設整備検討事業「基本的考え方」

## ■ 方向性

- ここで暮らすことを自慢したくなる「誇りや自信を創造する」  
誇りや自信を創造する = 暮らしの質の向上 = 地域課題の解決 + 未来への期待（ワクワク感）
- 国内外から人が訪れたくなる「価値を発信・創造する」  
ここにしかない文化や住民活動、地域づくり等を全国・世界へ発信 / 「学びの土壌」× 大都市圏や世界との交流 = 新たな価値の創造
- 民間事業者の参画を積極的に追求する

## ■ コンセプト

- スポーツや芸術文化を「学ぶ」環境を充実させることで、住民(特に若い世代)の誇りや自信を創造する。
- この地域の伝統芸能や文化活動など「学ぶ」に値する価値を国内外に発信する。
- 公民館活動に代表される「学びの土壌」をベースとした交流と体験を通じた能動的な「学び」により、新たな価値を創造する。
- 「一カ所完結型」ではなく、圏域内外の施設と連携して一体として方向性を実現(=ベースキャンプ)

## ■ イメージ

- 「ベースキャンプ」として圏域内外の施設と連携して一体として方向性を実現するためには「アリーナ機能を中心とする複合施設」とする  
～ 主なコンテンツ～
  - 子ども・青少年がプロスポーツに触れ、各種スポーツを本格的に学べるような市町村・校区を超えたクラブチームの拠点
  - リニアの利便性を活かして首都圏からプロの指導者が訪れ、ワールドクラスを目指せる環境を整備
  - パラスポーツ、シニアスポーツ(健康長寿の里)の拠点となる
  - 時には、大規模なスポーツ大会やイベント・コンサート、コンベンションを開催
- 連携する他施設
  - エス・バード … コンベンション、展示会
  - 飯田文化会館 … 音楽鑑賞、芸術文化の拠点
  - 圏域内外の体育館・文化施設・公民館

## ■ 留意事項

- スポーツ文化の醸成
- 公設公営は困難、民設民営か公設民営で進める
- プロスポーツ誘致の機運醸成
- 身の丈に合った施設、過剰な規模としない前提
- リニア中央新幹線の利用も考慮し、アクセスの観点からリニア駅近郊の立地を想定  
市町村から提案のあったリニア駅近郊の候補地は大事な要素

# 新しい時代に即したアリーナ整備に向けた飯田市の考え方

★南信州広域連合が「アリーナ機能を中心とする複合施設整備検討事業『基本的考え方』」を発出した令和2年2月以降の地域経済社会の変化を捉えた飯田市の考え方に基づき、リニア開通後の新しい時代にマッチしたアリーナ施設のあり方を検討

アリーナ機能を中心とする複合施設整備検討事業 基本的考え方

## 地域経済社会状況の変化

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による価値観や行動の変化
- 2 信州大学の新学部誘致活動の展開
- 3 東京2020パラリンピック開催によるパラスポーツへの理解と共生社会構築の重要性の再認識
- 4 リニア開通効果を地域振興に活かすビジョン(絵姿)の策定

## 地域経済社会の変化を捉えた飯田市の考え方

- 1 郡市民誰もがスポーツの楽しみや生活の質の向上を実感できるユニバーサルデザインに基づくスポーツアリーナ機能の実現
- 2 「新しい日常」への適切な対応とコロナ禍からの再興を支援する機能の実現
- 3 21世紀型のまちづくりエリアにマッチした機能の実現
- 4 リニア中央新幹線の開通や大学機能との融合を意識した機能の実現
- 5 リニア中央新幹線開通で繋がる大都市圏や圏域内外施設との連携及び役割分担による持続可能な施設整備の実現
- 6 最新のPPP手法等による民間の柔軟な発想と資金の積極的活用

## ■ 飯田市の実態・課題

### ① 子どもの運動時間やスポーツ機会の減少

- 少子化による部活動数の減少
- 運動部活動の加入率低下
- 1週間の総運動時間60分未満の割合が高い  
(通学時の送迎増加による歩く機会の減少)

### ② 子どもの練習等における体や心不調の増加

- 部活動、スポーツ活動の長時間化
- オーバーユース、過度のストレスによる燃え尽き

### ③ 子どもが競技力向上を目指す機会が少ない (指導者不足)

- 一部の社会体育における過剰なスポーツ活動の実施
- 指導者の確保と指導者の資質向上

### ④ 成人の日常的なスポーツ習慣の伸び悩み

- 週1回以上スポーツに親しむ市民の割合が全国より低い R2:48.3%
- 運動できなかった理由は仕事や家事の多忙

## ■ 飯田市スポーツ推進計画の取組

### ① ⇒ スポーツに親しむきっかけを提供する

- 子どもの運動能力を高めるための支援  
歩育の実践  
コーディネーショントレーニングの実施

### ② ⇒ 心身の疲労を回復するための時間を確保する

- 中学生期のスポーツ活動の充実  
適切な学校部活動の推進  
全市型競技別スポーツスクールの開催

### ③ ⇒ 適切な指導を受けられる機会を提供する

- 指導者育成と競技力の向上  
競技者の将来を見据えた指導ができる  
指導者の育成

### ④ ⇒ 気軽に取り組めるスポーツを普及する

- スポーツ習慣のきっかけとなるイベント開催  
やまびこマーチ・月いちウォーク  
ニュースポーツフェスティバル

南信州地域＝競技団体構成員・指導者、施設の利用実態から一体的なエリア

## リニア中央新幹線の開通がもたらす交流を捉え、**トップアスリートを目指す人材を「育む」** 取組を広域的な視野に立って展開する

### スポーツを「する」

- ★全国レベルで活躍できる**トップアスリートの育成**
- 生涯スポーツの土台を築くジュニア期におけるスポーツ環境の充実
- 上手になりたい、技術・戦術面で上達したいを実現できる指導体制の充実
- スポーツを楽しむ郡市民のスポーツ機会の充実と活動の場の充実

### スポーツを「みる」

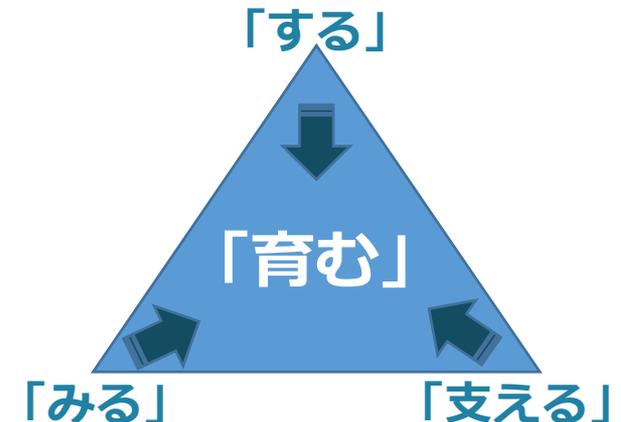
- ★レベルの高い競技大会やプロスポーツ選手などを見て体感できる**機会の創出**
- ★全国レベルで活躍する地元選手を身近な存在として**応援（見る）機会の増加**

### スポーツを「支える」

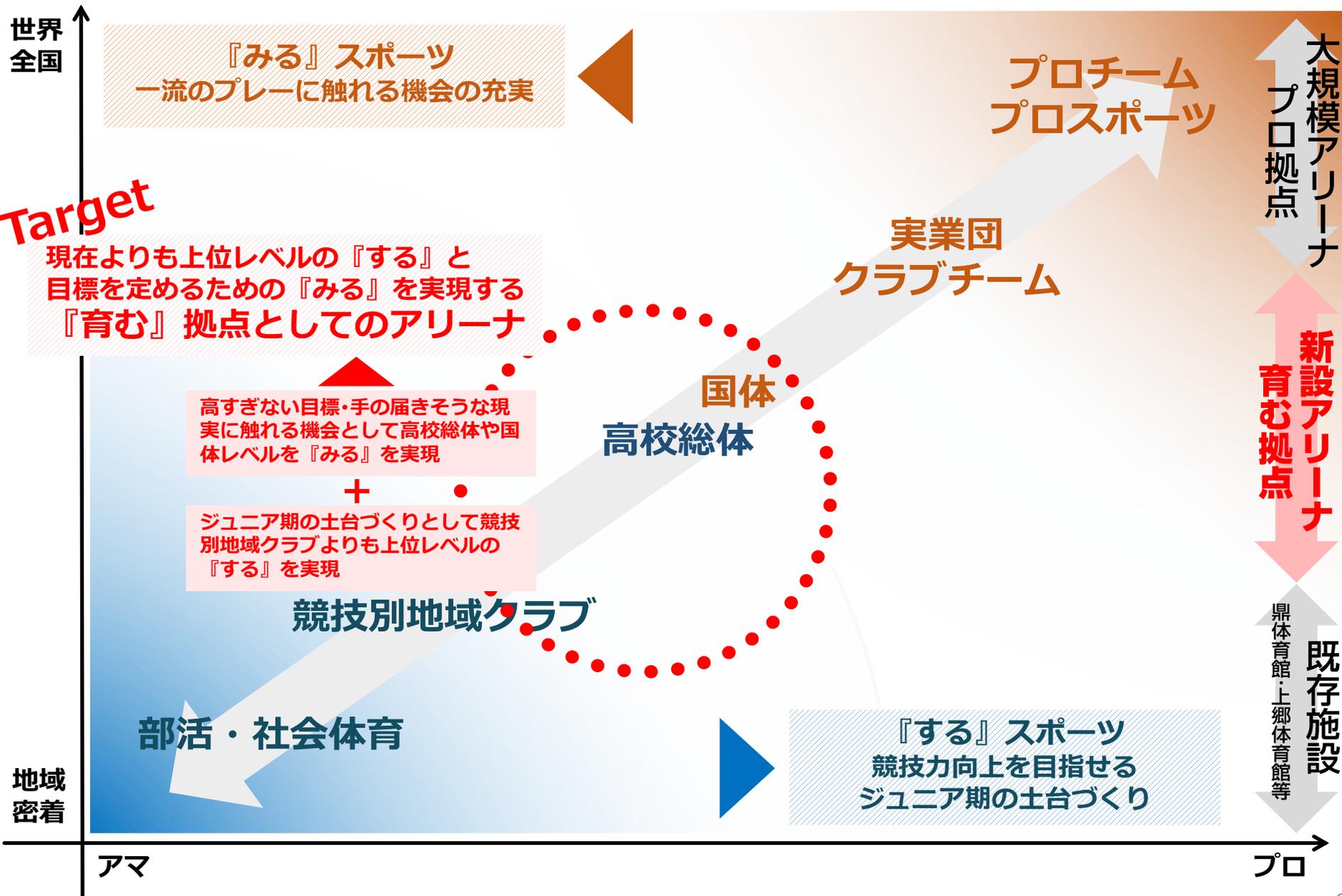
- 指導者やボランティアスタッフとしてスポーツ活動に関わる**機会の充実**
- 競技者主体に運動能力を引き出し高める指導ができる**指導者育成**

### 『育む』スポーツ施策の具体的イメージ

- スポーツ合宿の誘致+地元との交流 【する】  
(平日昼の利用促進+夜トップアスリート交流)
- 競技別地域クラブ活動の拠点 【する】  
(バス:リニアロケッツ、バレー:トライデンツJr等)
- 指導者の研修、専門家からの指導  
【する・支える】
- 交流スポーツ大会開催、対外試合の開催  
(行かなくても試合ができる) 【する・みる】  
(三遠南信道、リニア、中央道沿線大会等)
- プロ選手によるスポーツ教室 【する・みる】  
(ボールゲームフェスタ開催等)
- 大学生やプロ選手との交流 【する・みる】

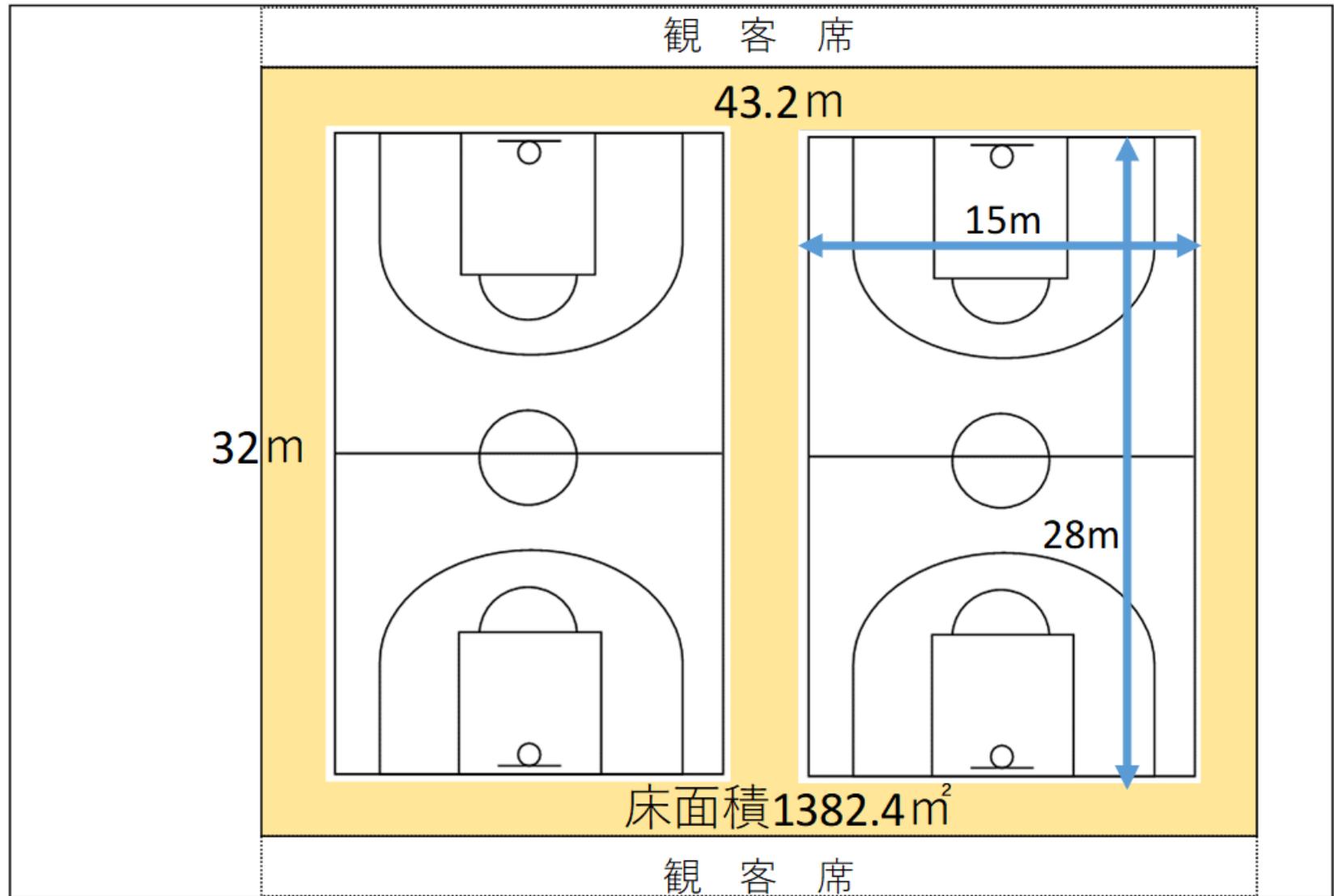


# 機能分析：スポーツ振興政策の視点から見たターゲット



# 規模分析視点：規模のイメージ①

★飯田市内最大規模の体育館 飯田市県体育館



# 規模分析視点：規模のイメージ②

## ★南信州広域連合内の体育館の規模

※競技区分 … B：バスケットボール、V：バレーボール、Bad：バドミントン、T：テニス、F：フットサル、H：ハンドボール

※駐車場 … 大型バス専用駐車場は2台分としてカウント

施設名	床面積	客席数	駐車場台数			競技面数					
			専用	周辺	合計	B	V	Bad	T	F	H
飯田市鼎体育館	1,382㎡	240	120	120	240	2	3	6	-	-	-
勤労者体育センター第1体育館	992㎡	300	70	-	70	2	2	6	1	-	-
〃 第2体育館	514㎡	-				-	1	2	-	-	-
飯田市上郷体育館	1,152㎡	245	70	-	70	2	2	6	2	-	-
飯田市切石体育館	615㎡	-	15	-	15	1	1	2	-	1	-
飯田市山田体育館	832㎡	-	50		50	1	2	4	1	1	-
飯田市南信濃B & G海洋センター	726㎡	-	50		50	1	2	4	-	-	-
松川町民体育館	1,280㎡	260	100	-	100	2	2	6	-	-	-
松川町名子原体育館	532㎡	-	10		10	1	1	3	-	-	-
高森町民体育館	1,285㎡	300	60	90	150	2	2	6	-	-	1
阿南町民体育館	1,020㎡	-	100		100	1	2	4	-	-	-
阿智村智里西体育館	476㎡	-	10		10	-	2	3	-	-	-
根羽村トレーニングセンター	1,092㎡	-	20		20	1	2	4	1	-	-
下條村B & G海洋センター体育館	726㎡	-	40		40	1	2	6	-	-	-
天龍村村民体育館	1,064㎡	200	10		10	1	2	4	-	-	-
泰阜村総合体育館	1,292㎡	252	24		24	2	2	4	-	-	-
喬木村中央社会体育館	980㎡	-	80		80	2	2	6	-	-	-
喬木村第一体育館	659㎡	-	6		6	-	-	1	-	-	-
豊丘村民体育館	1,233㎡	216	100		100	2	2	6	-	-	-
	平均	940㎡									
	中央値	992㎡									

# 規模分析視点：規模のイメージ③

## ★県内アリーナの規模、大会会場としての利用状況

※競技区分 … B：バスケットボール、V：バレーボール、Bad：バドミントン、T：テニス、F：フットサル、H：ハンドボール

※大会区分 … プロホームアリーナ、北信越国体、2028長野国体、高校総体

※駐車場 … 大型バス専用駐車場は2台分としてカウント ※R3高校総体のアリーナ競技は、諏訪以南での開催実績なし

施設名		床面積	客席数	駐車場台数			競技面数						大会区分			
				専用	周辺	合計	B	V	Bad	T	F	H	プロ	北信	長野	高校
更埴体育館 (ことぶきアリーナ千曲)	メイン	1794㎡	3020	436	-	436	2	2	10	2	-	1	○	○		
	サブ	-	-				-	-	-	-	-	-	-	B		
長野市真島総合スポーツアリーナ (ホワイトリング)	メイン	2700㎡	5000	500	291	791	3	4	12	-	-	-	○	○	○	
	サブ	2300㎡	-				1	2	6	-	-	-	B		B	
松本市総合体育館	メイン	2535㎡	5132	699	250	949	3	3	12	3	2	2	○	○	○	
	サブ	1110㎡	192				1	2	4	1	-	-	B.V		V	
大町市運動公園総合体育館	メイン	1627㎡	544	433	-	433	2	3	10	-	-	-			○	
	サブ	558㎡	-				1	1	3	-	-	-			V	
安曇野市総合体育館	メイン	1828㎡	1004	681	-	681	2	2	10	-	2	-	○		○	
	サブ	687㎡	-				1	1	3	1	-	-	V		V	
塩尻市総合体育館 (ユメックスアリーナ)	メイン	1536㎡	708	200	1300	1500	2	2	10	2	2	-			○	
	サブ	754㎡	50				1	1	3	-	-	-			Bad	
茅野市総合体育館	メイン	1887㎡	820	389	450	839	2	3	8	-	-	1				○
	サブ	840㎡	-				1	2	4	-	-	-				
佐久市総合体育館	メイン	1900㎡	672	84	300	384	2	3	8	2	2	1				○
	サブ	536㎡	-				1	1	3	-	1	-				
信州スカイパーク体育館	メイン	1821㎡	1134	941	1000	1941	2	2	10	2	2	-				○
	サブ	746㎡	-				1	1	4	1	1	-				
伊那市ロジテックアリーナ	メイン	1478㎡	1000	420	380	800	2	2	8	-	-	-	○			
	伊那市エレコムアリーナ	1244㎡	180				2	2	6	2	-	-	V			
飯田市鼎体育館	メイン	1382㎡	240	120	120	240	2	3	6	-	-	-				
	サブ	-	-				-	-	-	-	-	-				9

# 規模分析：機能と他事例から見たターゲット

## ★バスケットボール、バレーボール、バドミントン各大会会場の規模

※B:バスケットボール、V:バレーボール

競技床面積		競技	客席規模	駐車場			レベル感	特化
面数	面積			専用	周辺	合計		
10	3,400㎡	北信越国体【平均値】 (2会場分散開催)	5,001以上				プロ 全国           地域密着	特化型 (競技床面積・ 客席規模)
1	608㎡	B1	5,000					
	<b>メイン：2,535㎡ サブ：1,705㎡</b>	<b>北信越国体【中央値】 (2会場分散開催)</b>	<b>5,000</b>	<b>500</b>	<b>791</b>	<b>1,291</b>		
10 (分散)	メイン：2,400㎡ サブ：1,700㎡	北信越国体 (3会場分散開催)	4,500					
			4,000					
1	1,250㎡	V	3,500					
1	608㎡	B2	3,000					
10 (分散)	メイン：2,000㎡ サブ：1,000㎡	2028長野国体 (5会場分散開催)	2,500					
			2,000					
			1,500					
	<b>メイン：1,828㎡ サブ：754㎡</b>	<b>2028長野国体【中央値】 (5会場分散開催)</b>	<b>1,004</b>	<b>500</b>	<b>791</b>	<b>1,291</b>	一般型 (競技床面積・ 客席規模)	
8~10 (分散)	メイン：1,900㎡ サブ：700㎡	高校総体【平均値】 (3会場分散開催)	1,000					
	<b>メイン：1,887㎡ サブ：746㎡</b>	<b>高校総体【中央値】 (3会場分散開催)</b>	<b>820</b>	<b>389</b>	<b>839</b>	<b>1,228</b>		
			500					
2	1,400㎡	県体育館	250					
	床の仕様	バラスポーツ	客席なし				内容特化	
		競技別国際基準						

### 【プロ・全国・国体レベル】

大都市や周辺都市との役割分担  
現実味がない

#### ●飯田市の考え方

- 郡市民誰もがスポーツの楽しみや生活の質の向上を  
実感できるユニバーサルデザインに基づくアリーナ  
機能の実現
- 「新しい日常」への適切な対応とコロナ禍からの再興  
を支援できる機能の実現
- リニア中央新幹線開通後につながる大都市圏や圏域  
内外施設との連携及び役割分担による持続可能な施  
設整備を実現

Target

### 【国体及び高体連レベル】

メインアリーナ：1,900㎡程度  
サブアリーナ：700～800㎡程度  
客席数：1,000席程度  
専用駐車場：500台程度(1,200台)



### 【特化型】

ここにしかない希少性  
地域外への訴求力  
地域外からの求心力

# 位置分析：アリーナ機能から見る施設の位置

## アリーナ機能

### ●アリーナとしての基本的機能

- ① メイン・アリーナ / ② サブ・アリーナ
- ③ トイレ / ④ ミーティングルーム (会議室)
- ⑤ シャワールーム / ⑥ ウォーミングアップスペース

### ●特化型の機能 ここにしかないもの

- ① パラスポーツ用の床
- ② 競技別の国際基準の床

## アリーナ機能の規模

### ●国体及び高体連が実施できるレベル

メインアリーナ：1,900㎡程度

サブアリーナ：700~800㎡程度

客席数：1,000席程度 / 専用駐車場：500台程度

## 県内アリーナの事例から

### ●塩尻市総合体育館(ユメックスアリーナ)

敷地面積 23,067.52㎡

建築面積 5,450㎡

メイン：1,536㎡ / サブ：754㎡ / メイン客席数：708席 / サブ客席数：50席 / トレーニングルーム / スタジオ / 会議室 / ランニングコース / 屋外3×3バスケットボールコート / ポルダリング / ふれあい広場 / 駐車場

### ●安曇野市総合体育館(ANCアリーナ)

敷地面積 29,483.04㎡

建築面積 5,652.81㎡

メイン：1,828㎡ / サブ：687㎡ / メイン客席数：1,004席 / サブ客席数：0席 / トレーニングルーム / 柔剣道場(385㎡) / 会議室(2部屋) / 幼児体育館 / 授乳室 / 医務室 / 応接室 / 展望広場 / 防災倉庫(避難所・物資集積場所として利用) / 駐車場(最大290台)

## 施設の設置場所の検討

### ●視点1 機能を実現できる開発可能な一団の土地

- アリーナ機能及びその規模を念頭に先行事例にみる敷地面積約2ha
- 開発可能な約2haの一団の土地
- 実現に向けた地域の理解

### ●視点2 特化機能を十分に発揮するための立地

- 身体障害者のアクセスの良さ
- 交通インフラとの近接性

### ●視点3 郡市民の寄り付きの良さ及び周辺施設との連携の容易さ

- 郡市民のアクセスの良さ = 交通の結節点への近接
- 市内各施設及び周辺町村施設へのアクセスの良さ

リニア駅近くの  
開発可能な一団  
の土地への立地  
が最適

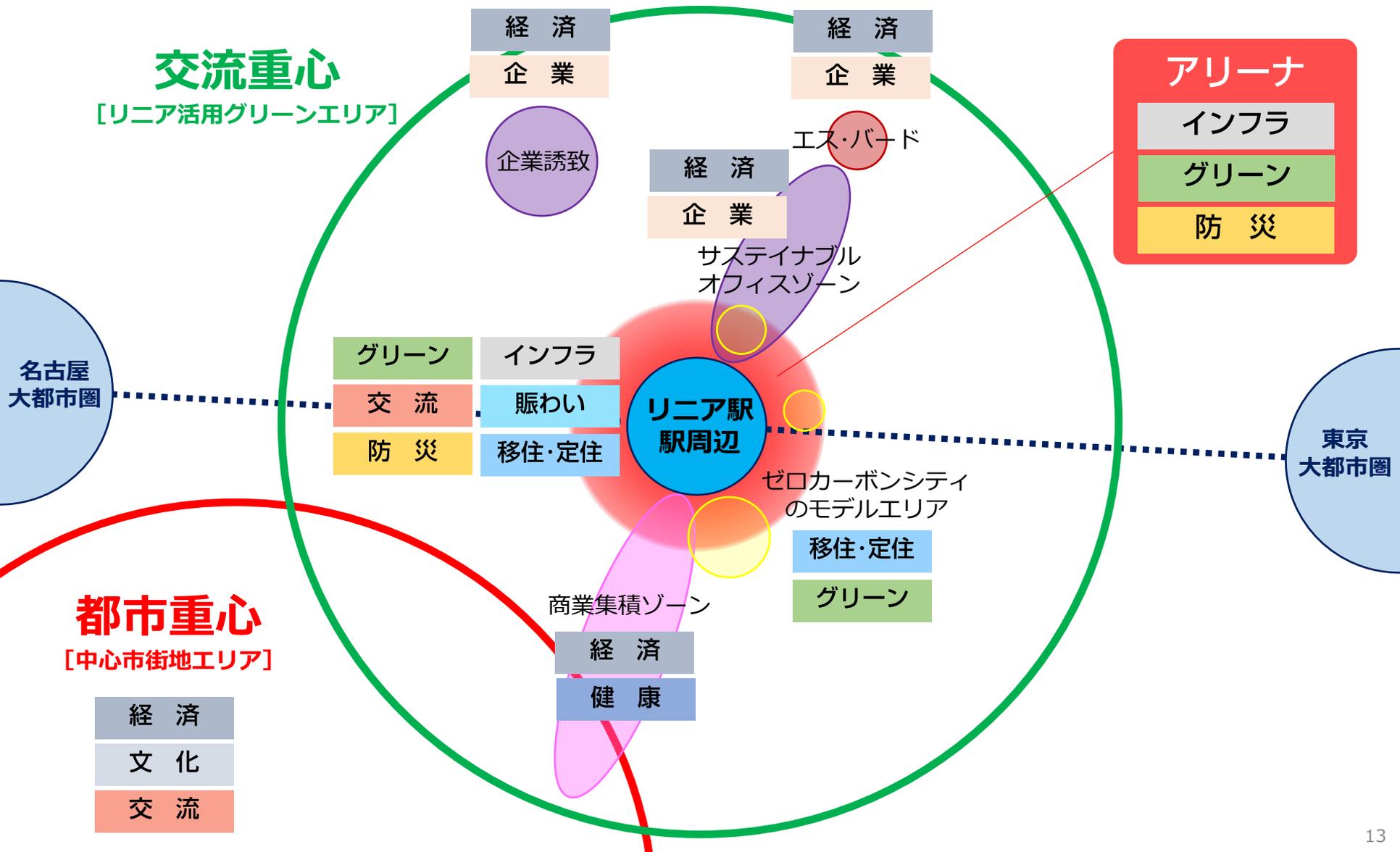
# 複合機能の再整理：アリーナ及び周辺エリアとの連携により複合化が想定される機能の整理

経済	文化	賑わい	交流	移住・定住
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツと親和性のあるお店</li> <li>・経済の活性化</li> <li>・外貨を稼ぐ機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽、展示会</li> <li>・文化、芸術の活動家が集まる場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南信州のシンボル</li> <li>・南信州を知る場</li> <li>・農産物が集まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流拠点の役割の明確化</li> <li>・農ある暮らしと交流拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住、定住、就農に取組む場所</li> <li>・2地域居住</li> </ul>
<p>スポーツ用品店 健康管理型食堂 レンタルoffice ホテル 飲食店</p>	<p>カフェスペース コンサートhall オープンスペース (貸空間) 美術展</p>	<p>店舗 観光案内所</p>	<p>キッチンカー 朝市 軽トラ市</p>	<p>ゲストハウス 相談 情報提供</p>

企業	健康	インフラ	グリーン	防災
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力の活用</li> <li>・スポンサーの確保</li> <li>・メッセの開催</li> <li>・コンベンション</li> <li>・企業の福利厚生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進関連機能の集約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインのみちづくり</li> <li>・駐車場と2次交通</li> <li>・道路整備計画との整合</li> <li>・リニアとアリーナのスムーズな接続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンインフラの聖地</li> <li>・CO2排出ゼロ</li> <li>・地元産材の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅困難者対応</li> <li>・居場所（一時避難等）</li> <li>・食料等の備蓄</li> <li>・災害に関する情報</li> </ul>
<p>会議場 会議室 ミーティングルーム</p>	<p>アウトドアグッズレンタル プール スーパー銭湯 サウナ 健康管理型食堂 ヨガ 整体・もみほぐし スポーツクラブ ボルダリング クリニック (整体・美容・メンタル) フィットネスジム スポーツジム ボクシングジム</p>	<p>バス レンタカー 動く歩道 駐車場</p>	<p>EVバス 太陽光発電 水素発電 振動発電 排水発電</p>	<p>避難所 物資拠点 トイレ 倉庫(ストック) ヘリポート</p>

# 複合機能の再整理：連携及び役割分担による機能整備

★アリーナ施設で想定される複合機能のうち、リニア活用グリーンエリア内や周辺エリア等で充足される機能



# 複合機能の再整理：今後想定される新たな複合機能の可能性

## ★機能別役割分担と位置づけ

### 飯田市の考え方

- 21世紀型のまちづくりエリアにマッチした機能の実現
- リニア中央新幹線の開通や大学機能との融合を意識した機能の実現

	機能	アリーナ候補地 (リニア駅周辺)	リニア活用 グリーンエリア内 他施設	他重心 [エリア] 圏域内
複 合 機 能	経済	●	● (地域経済活性化)	● (地域経済活性化)
	文化	●	●	●
	賑わい	●	●	●
	交流	●	●	●
	移住・定住	●	●	●
	企業	●	● (企業誘致・メロコパ・ジョブ)	● (企業誘致)
	健康	●	●	
	大学	●	●	
	インフラ	●	●	
	グリーン	●	●	
災害	●	●		

## 大学

- ・成人式や卒業式
- ・研究者が集まり研究できる場
- ・学術研究の共有、発信の場
- ・ビッグデータ活用
- ・大学リーグ
- ・大学生の利用
- ・大学生と地域住民の交流拠点

大容量通信回線 / 校舎・駐車場・グラウンド  
セミナーハウス / 研究室 / 福祉厚生

## インフラ

- ・ユニバーサルデザインのまちづくり
- ・駐車場と2次交通
- ・道路整備計画との整合
- ・リニアとアリーナのスムーズな接続

バス  
レンタカー  
動く歩道  
駐車場

## グリーン

- ・グリーンインフラの聖地
- ・CO2排出ゼロ
- ・地元産材の利用

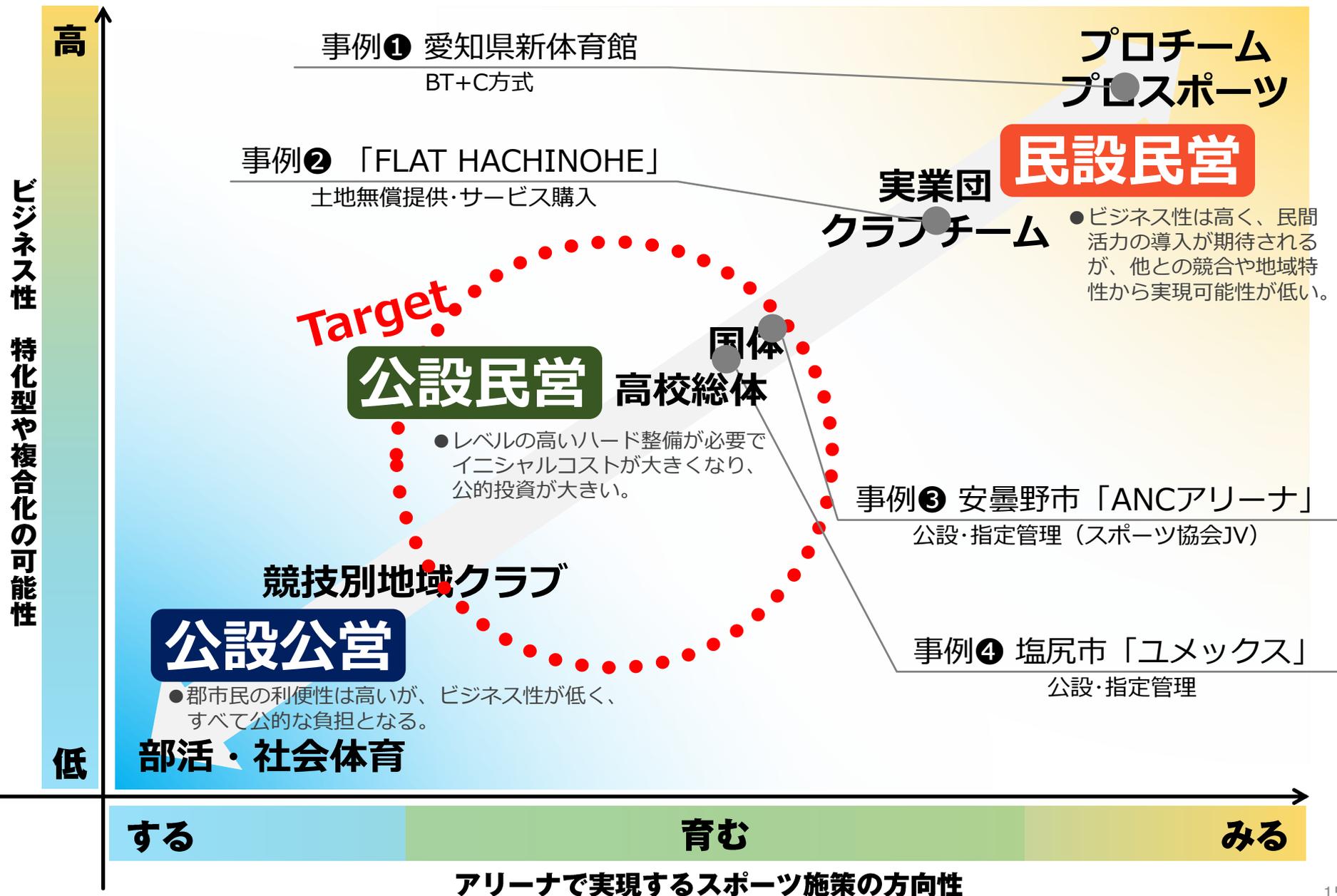
EVバス  
太陽光発電  
水素発電  
振動発電  
排水発電

## 災害

- ・帰宅困難者対応
- ・居場所 (一時避難等)
- ・食料等の備蓄
- ・災害に関する情報

避難所  
物資拠点  
トイレ  
倉庫(ストック)  
ヘリポート

# 整備方法分析：事業内容に基づく整備方法の整理



# 整備方法分析：整備方法の検討 事例①

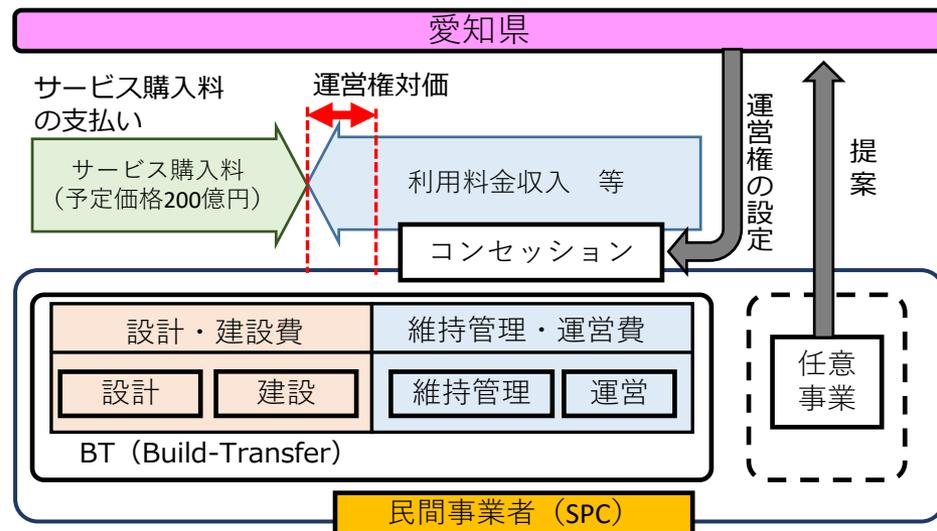
## ■最新のPPP手法（BT+C）による民間の柔軟な発想と資金の積極的活用

⇒ BT（Build-Transfer）+C（コンセッション方式）の組合せの流れ

### 【BT+Cの事例】

#### ●愛知県、日本初の「BT-コンセッション」で新体育館整備へ

- ・敷地面積 4.6ha
- ・延床面積 4.3ha
- ・事業者は、自らの提案に基づき設計、建設し、完成後に所有権を愛知県に移転（BT方式）
- ・愛知県は、事業者に公共施設等運営権を設定して維持管理・運営を行う（コンセッション方式）
- ・事業者は、併せて飲食店等の任意事業も可能。特別目的会社（SPC）を組織して運営



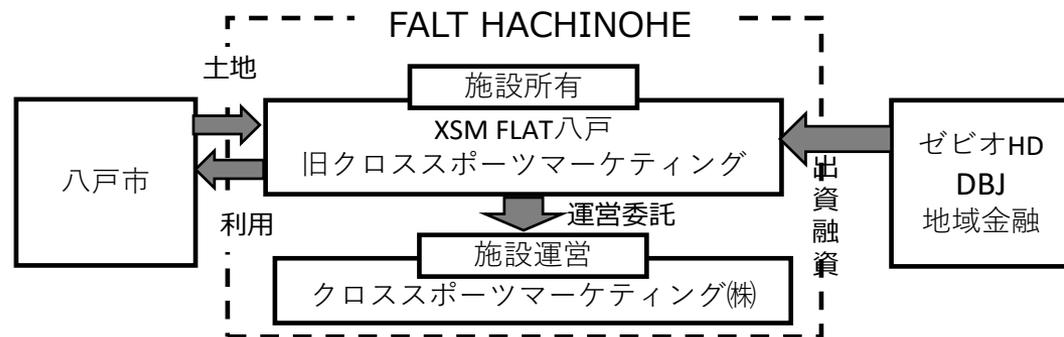
## ■最新のPPP手法による民間の柔軟な発想と資金の積極的活用

⇒ 新たな官民連携の流れ

### 【次世代型連携モデルの事例】

#### ●八戸版「スマート・ベニュー」の推進 FLAT HACHINOHE

- ・敷地面積 1.5ha
- ・延床面積 0.7ha
- ・八戸市は、約8億円で購入していた土地を事業者に無償貸与
- ・事業者は、クロススポーツマーケティング(株) (ゼビオHDの子会社)
- ・事業者は、建設と施設運営を担い、八戸市は、施設完成後、30年間にわたり年間1億円の利用料を支払うことにより、年2,500時間の施設利用枠を得る



※スマート・ベニュー：まちづくりおよびコンパクトシティの中核施設として、「周辺のエリアマネジメントを含む、複合的な機能を組み合わせたサステナブルな交流施設」を表す造語。DBJの商標登録

※施設機能：アイスホッケー「東北フリーブレイズ」のホームアリーナ。世界基準の断熱移動式フロアでバスケットボール等のスポーツアリーナ、コンサート、イベント、コンベンション、学校行事、地域行事が可能

## ■最新のPPP手法による民間の柔軟な発想と資金の積極的活用

⇒ 県内アリーナ施設の公民連携の事例 ①

### 【公民連携の事例】

#### ●安曇野市総合体育館「ANCアリーナ」整備と管理運営（PPP／公設・指定管理者）

・平成29年度に事業計画を策定、令和3年10月完工、令和4年1月開館予定

・総事業費 38億2,000万円

・敷地面積 2.95ha

・延床面積 0.73ha

・指定管理者 ミズノ・安曇野市スポーツ協会・A&Sグループ

・指定期間 令和4年1月～令和9年3月（5年2か月間）

・指定管理料 令和4年度～令和8年度：4億2,000万円（債務負担行為）

・施設名称 ネーミングライツ（命名権）

ANC：安曇野テレビ

権利料：100万円/年



※ネーミングライツ：スポーツ施設や文化ホールなどの施設の名称に、スポンサー企業の社名や商品ブランド名を付与すること。

## ■最新のPPP手法による民間の柔軟な発想と資金の積極的活用

⇒ 県内アリーナ施設の公民連携の事例 ②

### 【公民連携の事例】

#### ●塩尻市総合体育館「ユメックス」整備と管理運営（PPP／公設・指定管理者）

・平成28年度に事業計画を策定、平成30年度に設計・施工を一括発注（コンストラクション・マネジメント方式）、令和元年度に起工、令和2年11月完工

・総事業費 約36億円

・敷地面積 2.3ha

・延床面積 0.62ha

・指定管理者 ミズノスポーツ及びアシスト&ソリューション

・指定期間 令和3年4月～令和8年3月（5年間）

・指定管理料 令和3年度：1億192万円

令和4年度：1億88万円

令和5年度：9,984万円

令和6年度：9,880万円

令和7年度：9,776万円

（債務負担行為）

・施設名称 ネーミングライツ（命名権）



※コンストラクション・マネジメント方式：建築や設備のプロであるコンストラクション・マネージャーが、技術的な中立性を保ちつつ基本計画や設計の検討、工事発注方式の検討、工程管理、コスト管理など各種マネジメント業務の一括又は一部を行う。

## ●整備及び運営方法からみる実現可能性

- スポーツ文化の醸成・推進の方向性からアリーナに必要な機能及び規模感を検討した上で整備及び運営方法を検討し「公設民営」による事業成立を推察した。
- 実際に整備・運営する際のイニシャルコスト（県内実例から約40億円）及びランニングコスト（同年間約1億円）の財政負担をどのように考えるか。
- 運営主体となる事業者が存在するか。

## ●今後の検討の視点

- リニア中央新幹線開通までの間の社会経済状況の変化
- 信州大学新学部の誘致活動の動向
- リニア開通効果を地域振興に活かすビジョンの公表に基づく、郡市民からの意見や提言